

■まとめ

アムステルダム・ユトレヒトは、忙しい現代人の心の安らぎとなるような、古きよき時代の遺物を残しているながらも近代建築が存在しおり美しい街並みとなっていた。

一方、ロッテルダムは駅を出るとそこからすでに近代建築が立ち並ぶ新しい街並みで形成され歩く事で様々な街の表情が伺える。

主要3都市・北部の観光地の視察を行った上で、オランダ社会は自由と平等、合理主義を尊重しながらも建物や空間において多様な理想のかたちを様々な追求し、実践している様に感じた。

これは、あらゆる人々の生活の多様性を大切にしているからである。

オランダは「集合住宅の王国」と言われているが、今回の研修旅行の視察において生活の多様性をカタチにした「集合生活の王国」であると言いたい。

公共施設から個人邸まで建築の盛んなオランダを代表するかのよう様々な建築物を視察することが出来た今回の研修旅行は、非常に濃密なものであり今後の飛躍の糧として行きたい。

